

# 「みえ行政経営体系による県政運営」のあらまし

2011(平成23)年7月

三重県

# 目 次

1	みえ行政経営体系の意義	1
2	みえ行政経営体系の基本的枠組み	2
3	5つの基本的枠組みを構成する主要な仕組みのポイント	3
4	平成23年度の実組	4
5	年間運用スケジュール	5
(参考)		
	・「みえ行政経営体系」職員基礎調査の結果概要	6

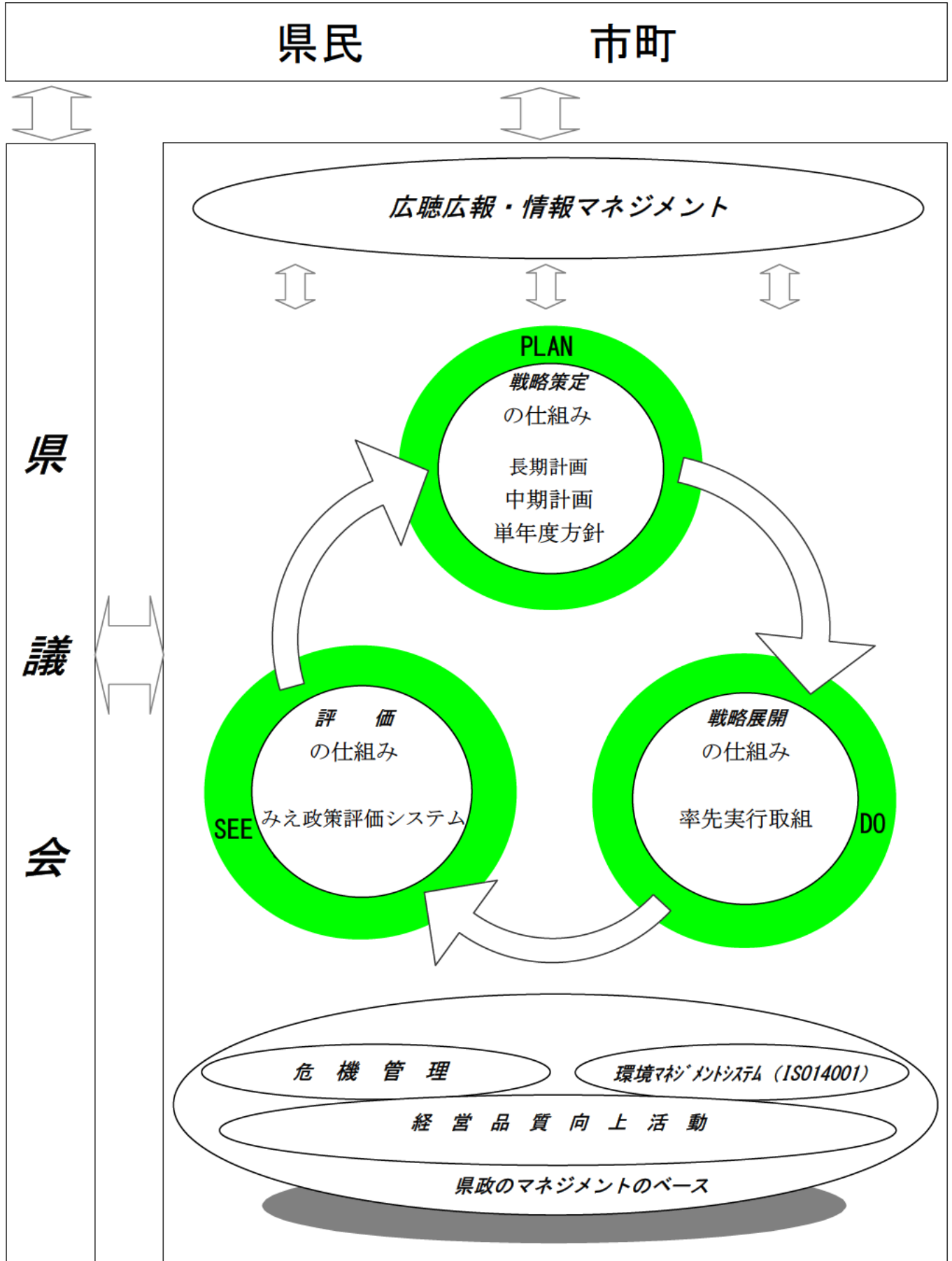
## 1 みえ行政経営体系の意義

みえ行政経営体系は、県政を着実に推進するための行政運営の仕組みです。

具体的には、経営品質向上活動、危機管理、環境マネジメントシステム(ISO14001)を「県政のマネジメントのベース」に位置づけ、「広聴広報・情報マネジメント」により県民ニーズ等を把握、反映する中で、「戦略策定(PLAN)」、「戦略展開(DO)」、「評価(SEE)」のサイクルが相互に連携して的確にマネジメントされるという5つの基本的枠組みで構成しています。

この基本的枠組みに沿って、全体最適な状態で県政が運営できるよう必要な見直しに取り組んでおり、不断にマネジメントシステムを改善、進化させていきます。

## 2 みえ行政経営体系の基本的枠組み



### 3 5つの基本的枠組みを構成する主要な仕組みのポイント

#### (1) 県政のマネジメントのベース

##### 経営品質向上活動

経営品質向上活動とは、組織の目標（あるべき姿）に向かって、改善・改革を継続的に進めていく活動のことです。常に「誰のために、何のために仕事をしているのか」を再確認しながら、サービスの受け手から見て最良の仕事のやり方を追求する点に特徴があります。

##### 危機管理

危機管理とは、県民生活に好ましくない影響を及ぼす事態や、県民の信頼を損なう事態を「危機」ととらえ、その発生（リスクの顕在化）を未然に防止する事前対策から、発生時の対応や復旧までを含む総合的な取組のことです。

##### 環境マネジメントシステム（ISO14001）

環境マネジメントシステムは、深刻化している地球温暖化などの地球環境問題に対応するために、組織が体系的に環境活動を行うための仕組みです。県庁では、国際標準規格「ISO14001」に基づいた活動を行っています。

#### (2) 広聴広報・情報マネジメント

##### 広聴広報・情報マネジメント

広聴広報・情報マネジメントとは、県民の意見や要望などを把握し、対応するとともに、これらの意見やニーズを分析し、財政状況などの経営情報と合わせて、施策の企画・実施・評価の各段階で提供し、活用していく仕組みです。

このような県民の意見や要望などの情報を得るために、県は行政運営情報を積極的に発信し、県民との接点を積極的に作っています。

#### (3) 戦略策定（PLAN）の主要な仕組み

##### 長期計画・中期（実施）計画・単年度の県政運営の指針

長期的な視点から、三重県のあるべき姿とともに、今後の県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示したビジョンと、これを的確に実行するための中期の実施計画、さらに、単年度の県政運営の指針により構成します。

本年度は、新しい県政ビジョンを策定中であるため、策定までの間における県政運営の指針として、「平成23年度県政運営の考え方」を取りまとめました。

#### (4) 戦略展開（DO）の主要な仕組み

##### 率先実行取組

率先実行取組は、職員が年度の始めに、上司や部下との対話を行ったうえで、自分たちの目指す姿を明確にし、「今年度1年間で自分が何に取り組むのか」を、目標数値を付して宣言する、いわば「職員の1年間の実行計画」です。

#### (5) 評価（SEE）の主要な仕組み

##### みえ政策評価システム

「みえ政策評価システム」は、県が取り組んだ施策や事業の成果、課題などを分析し、次の展開につなげるための行政評価の仕組みです。

## 4 平成 23 年度の取組

平成 23 年度は、新しい県政ビジョンを策定するまでの間、県政運営の指針として基本的な考え方をまとめた「平成 23 年度県政運営の考え方」に基づき、県政を進めてまいります。

政策展開にあたっては、日本一、幸福が実感できる三重をめざして、「安全で安心して暮らすことのできる三重に向けて」、「人と地域が輝き、能力や個性を生かすことのできる三重に向けて」、「働く機会に恵まれ、産業や経済が活発な活力ある三重に向けて」の大きく三つに分けて取組を進めていきます。

また、「東日本大震災をふまえた防災・エネルギー対策」、「教育立県に向けた取組」、「三重の元気を支える雇用・経済対策」、「地域医療の充実」、「新しい県政ビジョンの策定」、「行財政改革の推進」の六つの課題や取組に、特に注力していきます。

こうした政策を進めるにあたっては、現場を大切に、地域の力を伸ばす県政展開、さまざまな力を結集する県政展開、開かれ、内外に発信する県政展開の三つを県政運営の基本姿勢とします。

### 【戦略策定 (PLAN)】

社会経済情勢の変化や東日本大震災の発生などによる県民ニーズの変化に適切に対応し、県民の皆さんと共に新しい三重づくりに取り組むための指針として、新しい県政ビジョンを平成 23 年度中に策定します。また、県政ビジョンを実現するための実施計画についても同時に策定します。

### 【戦略展開 (DO)】

「率先実行取組」については、「質の行政改革」の推進に向けた取組の着実な展開を図るとともに、各部等における改善課題への対応策を的確に盛り込むことにより、改善活動の更なる活性化につなげます。

### 【評価 (SEE)】

「みえ政策評価システム」については、評価の結果を的確に予算議論や県政運営に活用できるよう改善を進めるとともに、新しい県政ビジョンに対応した今後の評価の仕組みを検討します。

### 【県政のマネジメントのベース】

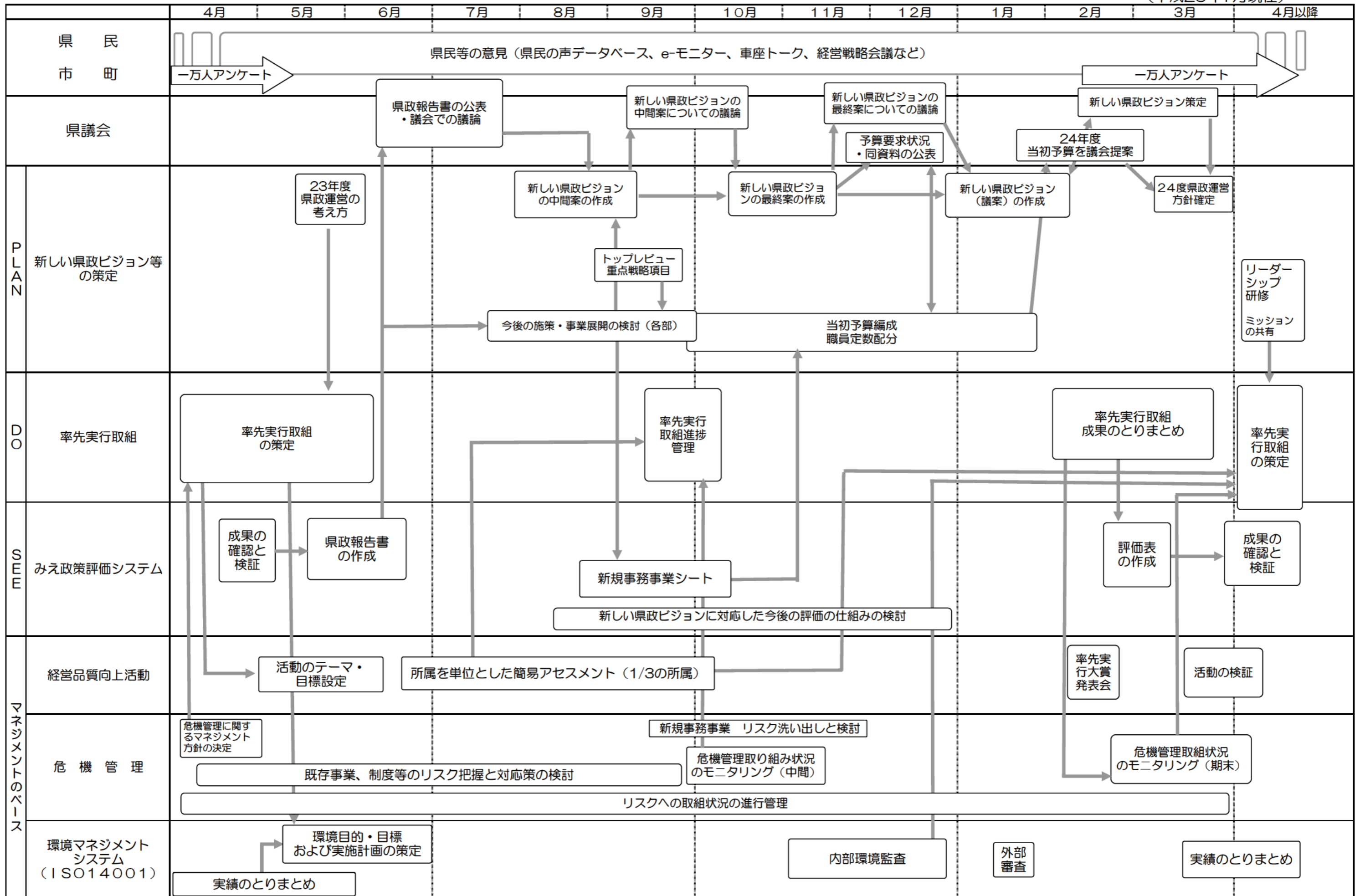
「経営品質向上活動」については、職員への一層の浸透を図るとともに、不断の改善活動を推し進め、県政運営の更なる発展向上を目指します。

「危機管理」については、研修・訓練を通じて、職員の危機管理に対する意識の浸透と定着、危機への対応力の一層の向上に努めるとともに、引き続き、県の事業・制度に潜むリスクの把握・対策の強化に取り組み、未然防止に努めます。

「環境マネジメントシステム (ISO14001)」については、審査登録の更新年度にあたるため、これまでの成果や課題について検証を行いながら、より良いシステムを構築し、一層の環境活動の活性化を図ります。

みえ行政経営体系 平成23年度年間運用スケジュール

※平成22年度運用スケジュールをベースに作成したものであり、今後、時期・内容に変更がある場合があります。  
(平成23年7月現在)



## 「みえ行政経営体系」職員基礎調査の結果概要（H16～H22）

「みえ行政経営体系」の主要な仕組みについての職員の理解度を確認すること、及び「みえ行政経営体系」についての職員の意見・提案等を求めることで、更なる仕組みの改善につなげることを目的として、毎年度職員基礎調査を行っています。

同様の趣旨での調査は、平成 22 年度で 7 回目となります。

### 1. 対象者

本庁、地域機関の職員（病院、学校、警察、四港、派遣先の職員を除く。）

回答率：64.1%（平成 21 年度：64.6%）

### 2. 調査項目

「みえ行政経営体系」及び体系を構成する主要な仕組みの計 8 項目について、  
趣旨・内容を概ね説明することができる

説明はできないが趣旨は概ね理解している

名前しか知らない

名前も聞いたことがない

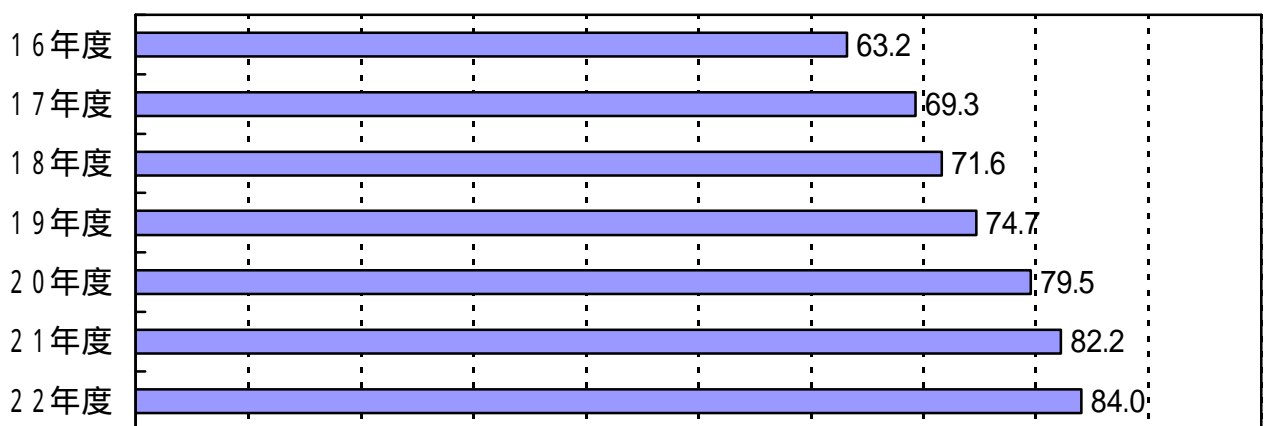
の 4 択により理解度（選択肢の と の合計）を把握しています。

### 3. 理解度

理解度は毎年上昇傾向にあり、平成 16 年度と比べると 20 ポイント以上上昇していることから、徐々に理解が進んでいると考えられます。

一方、未だ理解が十分でない職員がいるため、今後も周知徹底を図っていきます。

理解度の推移



%

**「みえ行政経営体系による県政運営」のあらまし**

**2011(平成 23)年 7 月**

**三 重 県**

**総務部 経営総務室 経営改善グループ**

**〒514-8570 津市広明町 1 3**

**TEL 059-224-2236**

**FAX 059-224-2125**

**E-mail [skeiei@pref.mie.jp](mailto:skeiei@pref.mie.jp)**